ユニバーサルシアターCINEMA Chupki TABATAと
早稲田大学ジェンダー・セクシュアリティ・センター
（GSセンター）のコラボレーションにより、
4編のクィア映画を共に企画し、ユニバーサル上映します！

LGBTQ+、障がい・言語・文化、その他様々な属性において
マイノリティである人々の存在と、その人々が受ける抑圧に対して
目を向けるきっかけを作り、 交差する抑圧が生み出すものが
何であるのかを考える場となるような映画祭を目指しています。

主催：
早稲田大学ジェンダー・セクシュアリティ・センター
（GSセンター）
CINEMA Chupki TABATA

シネマチュプキ×GSセンター

交差する クィア映画祭

2026/11/16 - 12/01

上映プログラム

11/16（月）～24（火）※18日（定休日のため休映）8日間

18:00-20:03
Love in the Big City（118分、韓国）



他人の目を気にせず自由奔放に生きるジェヒと、秘密を抱え孤独に生きるフンス。 正反対の二人が出会い、同居したことから始まる、「自分らしい生き方」を見つける物語。 華やかな都会の裏にある孤独、愛の多様性、そして真の友情と向き合い、 時に傷つきながらも自分らしく生きようと奮闘する姿を、ソウルを舞台に描くハートフル・ストーリー！

20:20-21:28
虹色の朝が来るまで（63分、日本）



群馬の手話サークルで知り合ったろう者の華とあゆみ。華は初めて同性に惹かれ戸惑いつつも、あゆみと交際することになる。 後日、華は実家へ帰り、両親にあゆみとの交際について話すと、いつでも味方だった母親から拒絶されてしまう。 苦しんでいる華を見かねたあゆみは、東京で開かれる”ろう者のLGBTQイベント”に華を誘う。そこには、悩みを抱えつつも前向きに生きる、ろう者のLGBTQの人たちが集まっていた。それぞれが今まで乗り越えて来た苦難を聞くうちに、初めは緊張していたふたりも次第に心を開いていく・・・

上映後トーク実施決定！

11月19日（木）手話通訳つき
ゲスト：今井ミカ 監督

11/26（木）～12/1（火）6日間

18:00-19:29
きっと青春大革命！（84分、メキシコ）



メキシコシティの南にある町テポストラン。15歳のカルラが秘密のコクーンで監督のカニと話し合っている。「この映画をどんな作品にしたい？」ふたりはカルラの人生を小学生だった頃から時系列に振り返り始める。「男子」と「女子」のどちらの列にも並べなかった校庭、永遠にメイクの練習をしたベッドルーム、コロナ禍で学校が再開した朝、名前を正式に変更した市役所、プライドマーチで叫んだスローガン、憧れたバトン部。パンクでヒッピーだった料理人のママとパパ、友だち、監督のカニ、そしてクィアコミュニティと聖なる岩山に見守られながら、カルラがいろんな自分に出会っていく。

上映後トーク実施決定！

11月29日（日）手話通訳つき
ゲスト：秋田祥 さん
（配給会社 ノーマルスクリーン代表）

19:50-21:07
となりのとらんす少女ちゃん（72分、日本）



中学2年生のユウタはシングルマザーの母と二人暮らし。ユウタのもとにある日突然、ユウカと名乗る女性が現れる。ユウカは 10年後の未来からやって来たユウタ自身で、様々な苦労の末に性別適合手術を受けてこの姿になったのだという。大人の身体になる前に一刻も早く性別移行に向けて動き始めるよう迫るユウカ。周りの友人たちとの間で小さな違和感を感じ始めていたユウタだが、強引なユウカに反発。女性として生きることを選んだユウカと、その未来を受け入れがたいユウタの攻防がはじまる。そんな中、ユウタの 14歳の誕生日にある事件が起き、ユウタは未来への選択を迫られる。

上映後トーク実施決定！

11月26日（木）手話通訳つき
ゲスト：東海林毅 監督

11月28日（土）手話通訳つき
ゲスト：未定
司会：GSセンター学生スタッフ えり

11月16日（月）～12月1日（火）
シネマチュプキ×GSセンター 交差するクィア映画祭
（バリアフリー字幕付き上映・イヤホン音声ガイドあり）

CINEMA Chupki TABATA
JR山手線「田端駅」北口から徒歩7分

〒114-0013　東京都北区東田端2-8-4
TEL&FAX　03-6240-8480　水曜定休

本事業の鑑賞サポートは、「東京文化戦略 2030」の取組「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」の一環でアーツカウンシル東京が助成しています。